

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



# 月刊アフリカニュース

2014年 10月 1日 No. 21

目次		ページ
アンゴラ月報	.....	1
マラウイ月報	.....	3
モロッコ経済日誌	.....	4

---

## アンゴラ月報 (2014年8月)

### 【内政】

- 12日、国会で国籍法改正案が可決、国内に10年以上居住し、その他の条件を満たす者はアンゴラ国籍を取得することが可能となり、1975年12月10日より前に出生し、出生届を提出しなかった者は国籍を失うこととなる。
- 20日、450人以上の元アンゴラ難民がコンゴ(民)からウイジェ州のキンバタ (Quimbata) 国境チェックポイントを通過し、アンゴラに帰還した。この帰還プログラムは、日本政府から予算が拠出され、IOM (国際移住帰還) によって運営されている。本年12月まで継続され、667家族 (計7000人) が帰還する予定。
- 21日、ロビトにおける閣僚級経済委員会の開催。

### 【外政】

- 4-6日、ヴィセンテ副大統領による米アフリカ・リーダーズ・サミットへの出席。
- 5日ブラジルとの軍事協力に合意。
- 11-12日、バチエレ・チリ大統領の来訪。
- 15日、ロサンゼルスに領事館開設。
- 20日、サントメ・プリンシペへの財政支援。
- 20-21日、中央アフリカ暫定大統領の来訪。
- 26-28日、アンゴラ・モザンビーク二国間協力委員会の開催。

### 【経済】

- 主要経済指標

7月期のインフレ率は6.98%、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)を年率8.75%に据え置き。銀行間取引利率LUIBORのオーバーナイトは3.31%(前月比0.37%p)に引き上げ。

8月末、為替相場は売値USD1=97.732AKZで推移(対前月比0.528クワンザ安)。GDP成長率を8.8%から6%に下方修正した。石油関連収入の減少に伴う歳入の減少。

信用格付け会社Moody'sは、アンゴラのソブリンリスクをBa3からBa2に引き上げ。

#### ●日本企業関連情報

丸紅繊維工場第2フェーズの操業開始。

21日、ドス・アンジョス・ベンゲラ州知事は、ロビト市で開催された閣僚級経済委員会通常会合の-marginで、丸紅がリハビリを手がけたアフリカ繊維工場(Africa Textile)が近日中に操業再開する旨述べた。同工場は26年間にわたり操業停止していたが、今般、最先端技術による近代化及びリハビリが施された。同工場では1200人の直接雇用創出が見込まれ、年間12万枚の布団、160万8000枚のシャツ、1200万枚のタオルが生産される予定。同州知事は、国内市場向けの製品を想定している旨述べた。同工場のリハビリ費用は約400億クワンザ。

#### ●石油・鉱物資源関連情報

- (1) 7月、日産170万バレル。
- (2) 2016年までに日量210~220バレル。
- (3) CLOV、年末までに日産16万バレル。
- (4) アンゴラLNG、来年中に操業再開。
- (5) 9月、ダイヤモンド採掘開始。

#### ●金融・銀行

- (1) BESAへの救済策。
- (2) アンゴラ・インベスト。

#### ●貿易・投資

(1) 輸出額、対前年比37.7%減少一方、輸入額は昨年同期の11億KZから14億KZに上昇した。なお、2014年上半期、アンゴラ的主要輸出先は、金額の多い順にポルトガル、中国、シンガポール、米国、オランダ。主要輸入先は、中国、米国、インド、台湾、ポルトガルとなっている。

- (2) 8月の民間投資契約、12件。
- (3) 民間投資案件、第2四半期に67件。
- (4) ブラジルOi社、UNITELを7000万ドルと査定。

#### ●交通・輸送インフラ

- (1) ベンゲラ鉄道リハビリの完了。
- (2) ロビト港輸送施設の完成。
- (3) ヴィアナで脱線事故発生。
- (4) TAAG、ブラジルへの旅行客増加。

[http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201408angola\\_report.pdf](http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201408angola_report.pdf)

## マラウイ月報（2014年8月）

### 【内政】

- 8月19日、初代資産公開局長の任命。
- 8月22日、ムタリカ大統領、北部ムジンバに大学新設を約束。

### 【外政】

- 8月4-6日、ムタリカ大統領の米・アフリカ・リーダーズ・サミット参加。
- 8月12日、タンザニアとの国境問題に関し妥協の余地は無いが、問題解決は平和的に行う旨ムタリカ大統領が発言。
- 8月17-18日、ムタリカ大統領の第34回SADC首脳会合参加。
- 8月30日、在マラウイ日本国大使館がリロングウェで和太鼓公演開催。  
在マラウイ日本国大使館及び国際交流基金の共催により、リロングウェで日本から来た公演団による和太鼓公演が開催され、約300名の観客が訪れた。公演の最後には今年が日マラウイ外交関係樹立50周年にあたることを記念し、マラウイ人バンドとの共演も行われた。西岡駐マラウイ日本国大使は、スピーチにて、日マラウイ外交関係樹立50年を祝し、和太鼓公演を開催できたことを非常にうれしく思う、このような文化交流を通じてさらに二国間の友好関係が深まることを願う等述べた。

### 【経済】

- 7月31日、アフリカ開発銀行による支援。  
7月31日、アフリカ開発銀行とマラウイ政府は、ナカラ回廊整備計画フェーズ4、保健及び生活改善のための持続可能な地方給水及び衛生インフラ事業、シレ川下流の水開発F/S事業等を含む1億400万米ドルの合意に署名。
- 葉タバコ取引状況。  
今年の葉タバコ生産量は18.25万トンと見積もられ、昨年の売上げ総量16.86万トンを超えた。この過剰供給のため、平均取引価格が落ち込み、現時点での売上総額は3.52億米ドルと、昨年の3.61億米ドルよりもわずかに落ち込んでいる。
- 8月13日、世界銀行とマラウイ政府は、技術開発事業及び社会セーフティネット事業の融資合意（計約340億クワチャ）に署名。  
7月のインフレ率は前年同月比6月の22.5%から22.3%へと低下。
- 我が国による支援  
マラウイ政府は、日本政府による資金援助を受けて実施中の第2次中等学校改善計画は直ぐにも完了予定と明かす。同計画には、女子寮、実験室、図書室、管理事務棟、教室、厨房、多目的ホールの建設及び家具等の機材供与が含まれている。
- 日本の中古車輸出業者であるビィ・フォアード社が当地にて事業を開始する可能性に対する反応は様々である。同報道は、一般市民には温かく歓迎された一方、一部（同業事業者）からは、同社の当地進出は自分たちの事業を潰し、当地経済に悪影響を及ぼすとして批判が上がっている。

[http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20140918\\_malawi\\_geppo.pdf](http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20140918_malawi_geppo.pdf)

I. 国内経済

1. 指標等

①2013年末のモロッコ国庫債務

②第6回人口・居住調査

2. 建設・公共事業・インフラ等

①マグレブ横断高速道路

②2013年モロッコ国鉄（ONCF）の貨物輸送収益

3. 農業・漁業

①モロッコの養殖業

4. 産業

①グランタクシーの車両買い換え

②モハメッド6世の演説

③KIAの販売代理業者

5. エネルギー・電気・水

①電気・水道料金の値上げ

6. その他

①2015年財政法

②モロッコの官民セクターと年金

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①日本の議員団のモロッコ訪問

②「第1回米国・アフリカサミット」の開催

③カタールへの食料品輸出

④ラバハ設備・運輸・ロジスティック大臣の訪日

2. 経済協力

①JICAの三角協力研修

②スペインによる農村支援

③カタールのモロッコ農業支援

④世界銀行のモロッコ支援

3. その他

①スペイン領セウタ経済

②アルジェリアとモロッコ間の密輸

③モロッコからの輸出構造

④アンチ・ダンピング調査

⑤JETRO副理事長のモロッコ訪問

<http://www.ma.emb-japan.go.jp/pdf/keizainisshi/Keizainisshi201408.pdf>